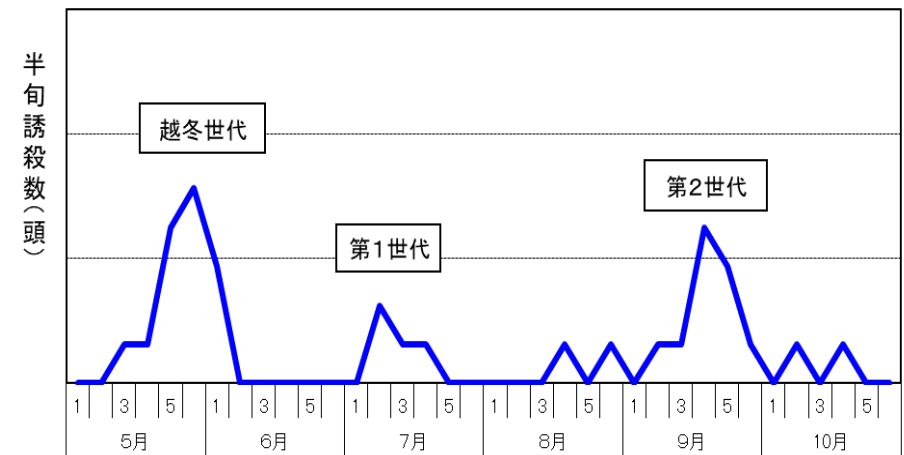


リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病害虫防除部

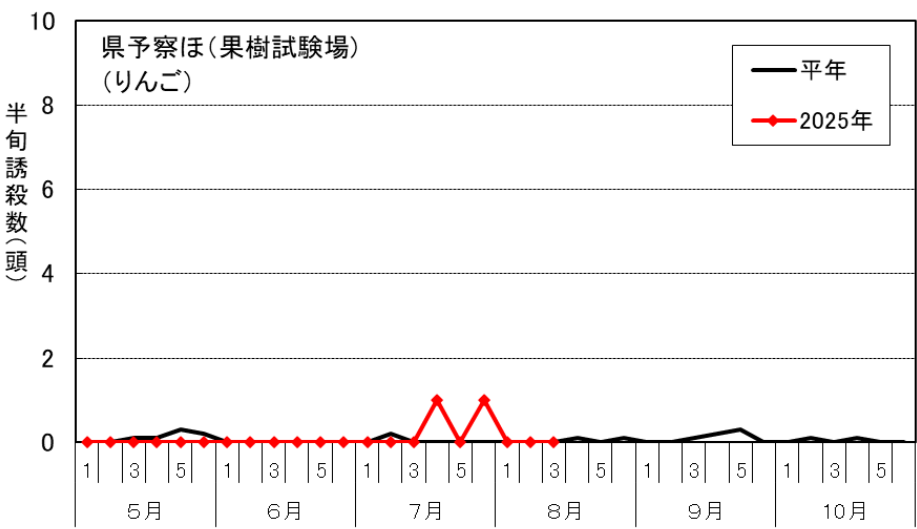
過去10年間の消長模式図（長野県果樹試験場内 試験場予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

- ・平坦部では年3回発生する。
- ・越冬世代成虫は5月下旬～6月上旬に発生する。
- ・第1世代幼虫は6月中旬から発生し、新梢の先端の葉を綴って食害する。成虫は7月中～下旬に発生する。
- ・第2世代幼虫は7月下旬～8月中旬に発生し、果実への加害が始まる。成虫は8月下旬～9月下旬に発生する。
- ・第3世代幼虫は9月上旬頃から発生し、密着した葉と果実の間に入り、果実に鉛筆の先端で突いたような食害を残す。2～3齢になると越冬に入る。
- ・適期防除が重要であるので、フェロモントラップを用いて、それぞれの地域の発消長を把握することが重要である。

○県予察ほ（須坂市 果樹試験場）



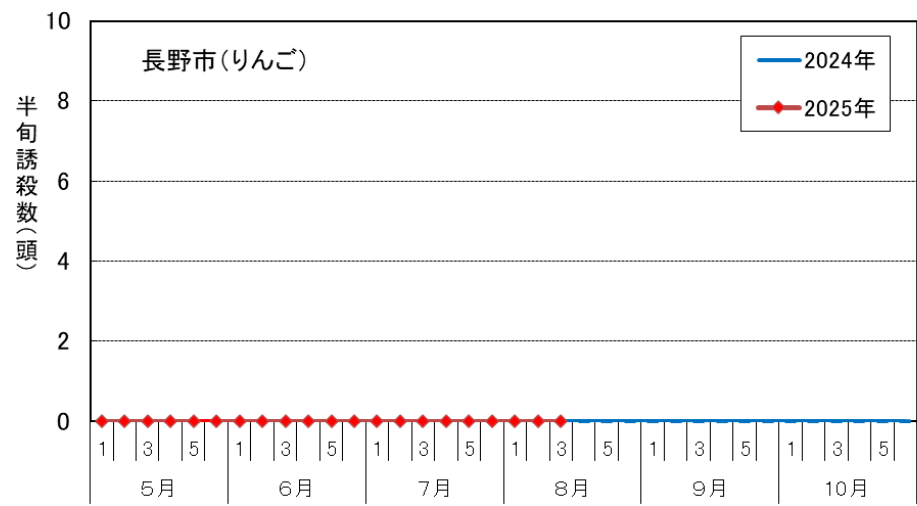
【調査地点】（標高約350m）

- ・須坂市 果樹試験場（りんごほ場）
- ・平年は2015年～2024年の平均値

【コメント】

- ・リンゴコカクモンハマキの誘殺は近年少ない。今年度も設置以降6月末まで誘殺がなかったが、7月第4半旬と第6半旬に1頭ずつ誘殺された。

○長野市（病害虫防除部）



【調査地点】（標高約370m）

- ・長野市（りんごほ場）
- ・2023年からほ場変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・調査ほ場変更以降、これまで誘殺の記録がない。
- ・本年もこれまでのところ誘殺されていない。

○中野市（中野市 発生予察ほ）

